

第1章 総説

計画策定の意義

本県における情報通信産業の発展や産業DXの推進に向けた県の施策の方向性を明らかにするとともに、関係団体等の取組を推進する際の指針とする。

計画の位置づけ

沖縄振興計画の施策を深化・加速化するための分野別計画として、情報通信業の振興および産業DX推進に向けた基本方向と具体的施策を定めたものである。

計画期間

令和4年から13年までの10年間（5年ごとに改訂）

第2章 これまでの成果と課題

これまでの成果

- ① 企業数の増加 企業数 487社(H23)→907社(R2)
- ② 雇用創出に寄与 雇用者数 31,845人(H23)→42,630人(R2)
- ③ 売上高の拡大 売上高 3,482億円(H23)→4,259億円(R2)

顕在化した新たな課題

- ① 情報通信産業の付加価値の向上と人材不足
- ② 沖縄の産業の「稼ぐ力」の向上
- ③ 新しい産業を生み出すイノベーションの必要性

第3章 現状と展望

今後の展望

- ① 労働生産性の向上…ビジネスモデルの高度化・転換
- ② 産業DXの推進…情報通信産業と他産業との共創・連携
- ③ イノベーション環境の整備…スタートアップ・海外展開

第4章 基本方針と具体的施策

基本目標

情報通信産業が稼げる産業へと変革し、産業DXを支えるパートナーとして、沖縄の産業の持続的発展に寄与する。

成果指標

KGI（重要目標達成指標）

- ・情報通信業の労働生産性
- ・情報通信業の給与水準（従業者1人あたりの給与総額）

KPI（重要業績評価指標）

- ・情報通信産業の企業数および雇用者数
- ・情報通信業の従業者1人当の売上高

基本施策

（1）情報通信産業の構造変革

- ① 市場接点の拡大と企業間連携の促進
- ② ビジネスモデルや経営の変革
- ③ 高度化を担う人材の育成や人的交流の促進
- ④ ITビジネス環境の充実、特区制度活用促進

（2）リゾテックおきなわの推進による産業DX加速化

- ① DXの普及啓発
- ② 企業DX・産業DXの支援体制の構築
- ③ 多様なDX推進人材の育成
- ④ データ活用基盤の構築

（3）イノベーション創出のための環境整備

- ① テクノロジーが集積する環境づくり
- ② イノベーターの創出・多様な交流の促進
- ③ 海外とのビジネス交流の促進